

令和7年倉敷市スポーツ章受章者（スポーツ振興功労者）

（規則第3条第2項第1号に該当）

（氏名については敬称略）

No.	氏 名	推薦団体	
1	きりの ひろし 桐野 博史	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 卓球部	人望の厚い人柄で、平成11年の旧倉敷市体育協会 [※] 時代から現在もなお28年の長きに亘り、（公 財）倉敷市スポーツ振興協会卓球部の理事、部長、副部 長と要職に就き活動を支えている。また、その間、同協 会組織においても副理事長、評議員も務め貢献してき た。 競技面では、自身の競技実績を基に、競技力強化部長 をはじめ、県代表である国民スポーツ大会の監督を歴任 するなど、トップレベルの一般から中学生の指導まで後 進の育成に尽力している。 長年の卓球競技への普及・発展の功績は顕著である。
2	ながお みつしろ 長尾 光城	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会	倉敷市主催事業である川崎医療福祉大学で開催の中高年 健康・スポーツ教室の立上げの中心で、現在も高梁川流 域健康・スポーツ推進事業大学講座のベースとして続い ており、多くの市民参加者に生涯に亘る健康意識や習慣 の取り組みに大きな影響を与えた。 また、スポーツドクターという専門的な医科学見地か ら平成21年より旧倉敷市体育協会の副会長をはじめ、 岡山県体育協会（現岡山県スポーツ協会）の理事とし て、それぞれの組織でのスポーツ医・科学委員会の委員 長等を務めた。スポーツ相談室など各場面での専門的ア ドバイスや指導を行い、競技分野においても倉敷市のみ ならず県域においてもスポーツ振興への功績は大きい。

[※] 現（公財）倉敷市スポーツ振興協会